

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

**※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
できますので、あらかじめご了承ください。**

1. 学校概要

学校名 奈良市立柳生中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他（ ）

住所 〒630-1237
奈良市柳生町212-2

E-mail : yagyuu-j@naracity.ed.jp

Website : <http://www.naracity.ed.jp/jhs01/index.cfm/12.html>

児童生徒数：男子 6 名 女子 5 名 合計 11 名
児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ
いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

○ニッポンバラタナゴ里親プロジェクト

学校の生態園を活用し、近畿大学水圏生態学研究室と連携した「ニッポンバラタナゴ里親プロジェクト」に取り組んでいる。三学年合同の理科の授業を中心に、生物観察や池干し等の手入れを行い、自然に親しむとともに生物や人の営みとのつながりについて考える機会となっている。プロジェクトの意義や絶滅危惧種の保護などについて大学の先生の講義を受け、観察等で大学生と一緒に活動することは、生徒にとって貴重な学びの機会となっている。

○地域遺産学習から世界遺産学習へ

社会科では、身近な地域の調査の単元で「柳生の世界遺産を探そう」というテーマで取組を進めている。地域の歴史や伝統文化を再発見し、まとめ発表や地域を紹介するPRビデオの作成に取組み、授業参観で発表した。さらに、校外学習では世界遺産学習の一環として1・2年生で世界遺産の環境面に目を向けて5つのテーマを設定し、取組を進めた。奈良公園・若草山・春日大社・東大寺等を各チームで探索をした。今後、地域活性化につながる提言を生徒が発信する取組につなげていきたい。

○本物にふれる体験学習

全校で本物にふれる体験活動の多くを地域の方々と共に行うことや現地学習を行うことにより、地域や社会とつながりが深まることを目指した。

今年度の福祉体験学習は、体験を通して生き方や知識を学び、他人を思いやり尊重する豊かな心や実践する意欲・態度を身につけることを目標に活動した。高齢者福祉施設への訪問に向けて全校縦割り班を編成し活動目標を定め、昼休みに交流する出し物を練習するなど3年生が中心となって訪問に向けた取組を進めた。

その他の体験学習としては、次のようなものも実施した。

- (5月) 救急法講習会 ライオンキング鑑賞会
- (7月) 看護の出前授業 (12月) J Aの仕事について
→キャリア教育出前授業
- (1月) 和楽器(琴)体験学習
- (2月) 星座観察会

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()